

学習日誌

12月 12日 (金)	講 師	大学展委員会・大学展大航海推進WG
出席者数	57名	記録者 10年 6班 森 千恵子
講座名	あすなろ大学展 2026に向けて	
プログラム担当者	大学展委員会・大学展大航海推進WG	
時間・場所	13:30 ~ 15:30 、 第1集会室 にて	

【学習内容】

あすなろ大学展2026に向けて 司会進行 発表会WG田中

【前半】

1. あすなろ大学展 2026 全体説明

(大学展委員長齋藤)

昨年までは大学展発表者や当番班に向けた講座だったが、今回は全員参加の大学展という事でこの講座を開催した。発表者の申請者が少なく大学展WGの方々の努力で13件の発表にこぎ着け、ようやく大学展が開催出来るようになったとの事。



2. 会場レイアウトについて (発表会WG レイアウト班リーダー齋藤)

昨年とほぼ同じだが受付と出席簿の場所の位置を変え、クラブ活動が減ったのでその部屋に休憩場所を設けた。

3. 発表会プログラムについて (発表会WGプログラム班リーダー成嶋)

発表件数が少なかったので、ジャンル別グループや受講生提案講座の方々にも発表をお願いしたとの事。

次に2026スケジュール表の詳細説明 (発表会プログラム班のスケジュール表担当田中)

4. 発表について (成嶋大航海推進WGリーダー)

1.展示作品の制作、2.スライド (パワーポイント) 作品の制作と発表、3.書画カメラを使った発表、4.模造紙作品を使った発表、5.事前確認について、6.ダイジェスト版の作成について、7.レポートについて、8.著作権法に対応した引用のルールについての説明を別紙資料で説明をした。

《休憩》

【後半】

(前半) 大学展2026当番班の役割説明 (担当: 田中、成嶋)

来賓者及び一般来場者受付、案内業務又、学習日誌作成等大学展当日の担当番班の役割の説明。担当班は案内、受付係をそれぞれ2名ずつ決めておく事。学習日誌は1日1枚とする。

(後半) PCスライド・書画カメラ試写 (担当: 須藤、齋藤)

発表者による試写 (個人PC持込の確認)

【感想】

冒頭の齋藤大学展委員長の説明は大学展開催への努力と熱意を感じ、又、大学展WGの皆さんの熱心な説明にあすなろ生全員参加で協力し、全員参加の大学展にしなければと思った。